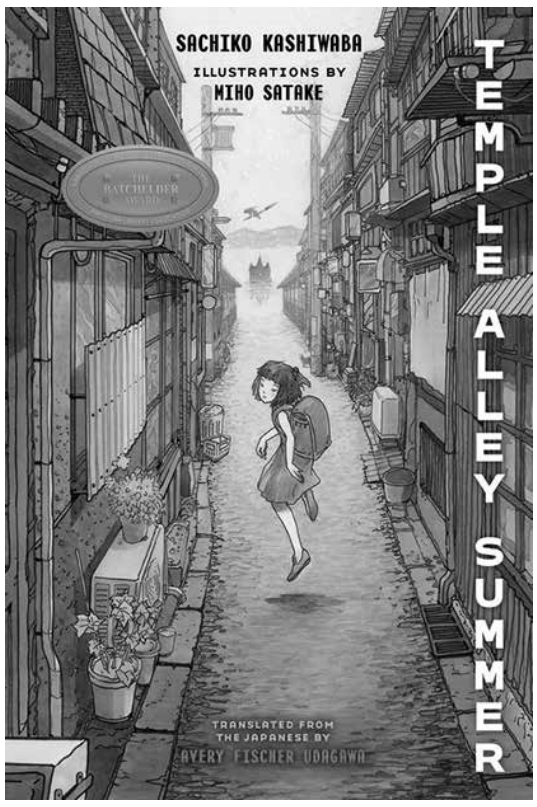
国際交流基金ニューヨーク日本文化センター
児童文学作家の柏葉幸子さん



リサ・ホフマン・クロダ氏

柏葉幸子氏

26日に紀伊國屋書店NY本店でトークイベント

国際交流基金ニューヨーク日本文化センターは、26日（月）午後3時から紀伊國屋書店NY本店（6番街1073番地、41丁目）にて、児童文学作家の柏葉幸子氏を招いたトークイベントを開催する。受賞作『帰命寺横丁の夏』について、ニューヨークを拠点に活動する日本文学翻訳者のリサ・ホフマン-クロダ氏とともに話しをする。トークセッション後は質疑応答、購入者限定のサイン会も予定している。イベントは無料、先着順。

柏葉さんは1953年岩手県生まれで、これまでに100冊以上の児童文学作品を発表している。75年『霧のむこうのふしぎな町霧にぬれた不思議な村』（クリストファー・ホームズ訳、87年）で日本児童文学者協会新人賞受賞。小説『地下室からの不思議な旅』（88年）は『バースデー・ワンダーランド』として2019年にアニメ映画化、小説『岬のマヨイガ』も21年にアニメ映画化されている。『帰命寺横丁の夏』は米国で初めて英訳された小説作品で、22年にバチェルダー賞を受賞した。岩手県盛岡市在住。

対米進出企業のSDGs戦略手帳 5

2022年シカゴIFT　世界食品展示会：欧米企業のサステナブルフードが目指す先は

■IFT（The Institute of Food Technologists）Firstとは

IFTとは、食品科学の進歩を目指す95か国の約1万2000人の個人会員からなる世界的な組織で1939年以来、世界の食品の課題を解決するために、食品科学、技術、学界、政府、業界に所属する専門家らが集まる展示会へと成長した。

今年7月10日～13日、3年振りに同展示会がシカゴ最大のマコーミック会場で開催された。コロナ明けの今回はハイブリッド型展示会となり、出展社数は818社、来場者数は1万8000人超となった。（2019年の出展社数は1300社、来場者数は約2万人）。

■2022のテーマは

「Hacking the Food Supply：現在を越えて、より持続可能なフードサプライを創造する。未来への潜在的な可能性を探る」とし、会場ではコロナ前から食品トレンドとして注目を集めてきた「Plant Based food（プラントベース）植物性食品」に大きく市場がシフトする傾向がみられた。

■キーワードは、プラントベースフード×ITテクノロジー

2020年に290億ドルだったプラントベースフード中心の市場が、2030年には1620億ドルに成長するというアピールが目立った。約6倍の成長規模だ。コロナ後、大豆やとうもろこしを使ったBeyond Meat（ビヨンドミート）食品が注目され、より健康的で環境に優しい食材の需要が伸びている。

■欧米食企業の目指す先

IFTのCEOタランティーノ氏は「過去2年間はオンライン開催だった。今年は今まで以上に食品に携わる専門家を会場に招聘した。これまでとは異なるダイナミックな各業界のプロ達が集まった。食品開発への科学的プログラム、食品流通や未来に焦点を当てた討論、人脈ネットワーキングなど統合的に有意義なものになった」と今年のIFTを振り返った。

（IFT会場：筆者撮影）

（IFT会場：筆者撮影）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

古市裕子
SDGs-NYスペシャリスト（サステナブル経営×日系企業NY進出支援）NY Marketing Business Action, Inc.代表取締役。国連大学SDGs研究員。ジェトロNY17年勤務。著書【SDGsピボット戦略：欧米企業12事例集／SDGs×次世代×企業価値】https://www.amazon.co.jp/dp/B09NVMP2DF

オペラ座の怪人
ブロードウエーを去る

ブロードウエー史上最も長く続くミュージカル「オペラ座の怪人」のプロデューサー、キャメロン・マッキントッシュ氏は16日、同作品の公演を2023年初旬に公演を終了することを発表した。

フランス人小説家ガストン・ルルー原作、ミュージカルの巨匠アンドリュー・ロイド・ウェバーが手掛けた同名作は、大盛況となったロンドンのウエスト・エンド公演の2年後、1988年1月26日にNYで初公演を迎えた。86年の英ローレンス・オリビエ賞新作ミュージカル賞、88年のトニー賞ミュージカル作品賞を含む70賞以上の演劇賞を受賞し、サラ・ブライトマンも参加したオリジナル・キャストのアルバムは世界中4000万枚以上を売り上げた。41か国183都市、17言語で公演され、1億4500万人以上が観賞した。ブロードウエー公演は、2006年1月9日に最も長いミュージカルとしてギネスに登録され、以降記録を更新し続けている。また、出演者450人を含む推定6500人を雇用し、単一作品としては米演劇市場最も高い興行収入と雇用を生み出した。業界団体ブロードウエー・リーグによると今月時点で、約1万4000公演で観客動員数は1950万人、総収益130億ドルを計上している。

しかし王道作品も、新型コロナウイルス感染のパンデミックの影響を回避することはできず、現在の客席の収容率は81%、月の売上収益も平均100万ドルに留まっている。マッキントッシュ氏によると、アンドリュー・ロイド・ウェバー氏、劇場制作組織シューバート・オーガニゼーションとリアリー・ユースフル・シアターズとの協議の結果、同ミュージカル35周年後の2月18日、マジェスティック劇場で1万3925回目を最終公演にすることを決定した。

東京都立西高等学校
同窓会米国支部
同窓生
会員募集
nishi-doso-usa@hotmail.com

生花の実演
ブロンクスのNY植物園で
10月6日に開催

生け花インターナショナルNYは10月6日（木）午前11時から午後1時まで、ブロンクスにあるNY植物園（2900 Southern Blvd）のロス・レクチャーホールにて、同植物園とのコラボレーション企画となる、池坊流派華道家・ジョセフ・ラム教授による生け花デモンストレーションと展示が行われる。入場料は一般35ドル、生け花インターナショナルNYまたはNY植物園の会員は29ドル。チケット購入はhttps://Ikebanany_NYBG_demo.eventbrite.com から。10人以上のグループチケット（29ドル）の購入はEメールinfo@ikebanany.org（Debbie Kopinski）まで。

絵本『コインでつなく平和の鐘』絶賛発売中！

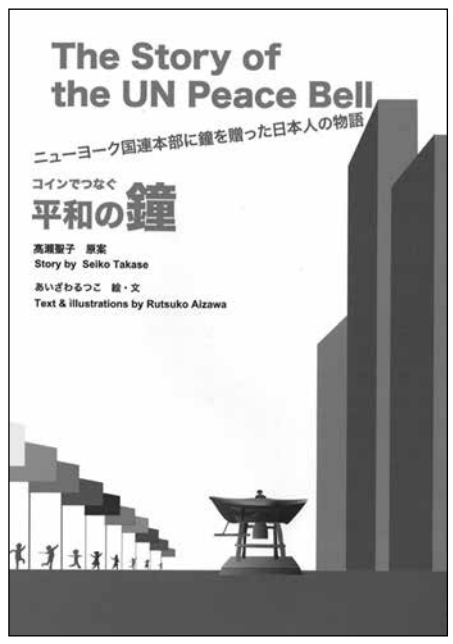
ニューヨークの国連本部ビルの日本庭園にある「平和の鐘」は、愛媛県宇和島市長を務めた中川千代治元日本国連協会愛媛県副本部長（1905～72年）が、日本が国連に加盟する前の1951年、パリにおける国連会議に出席した際に世界65か国から寄贈された各国代表のメダルや硬貨、ローマ法王からの寄贈メダルや日本の古銭などを加えて「平和の鐘」を作り、54年に日本国連協会の名の下に国連本部に寄贈したものです。2年後の56年に日本は80番目の加盟国となり国際社会に復帰。毎年9月末に国連事務総長がこの鐘を突いて国連総会の開幕を告げるのが長年の習わしで、この日は「国連平和デー」と呼ばれています。日本が国連に加盟して62周年を迎えた今年、この絵本は、日本から平和を訴える強いメッセージとなるでしょう。

The Story of the UN Peace Bell

In 1951, before Japan became a member of the UN, Chiyoji Nakagawa of Uwajima, Ehime Prefecture went to the UN Conference in Paris at his own expense. He then gathered coins and medals from the delegates of 65 nations who were participating in the conference, added a donative medal from the Pope as well as Japanese coins and cast the Peace Bell with all the pieces. The bell was donated under the name of the UN Association of Japan and installed in 1954; two years later, Japan officially became the 80th member of the UN. Every September on the International Day for Peace, it has become a tradition that the United Nations Secretary-General rings the bell to mark the opening of the UN General Assembly. This year marks the 62nd anniversary of Japan joining the United Nations, and the picture book conveys a significant message of peace from Japan.

国連本部に鐘を寄贈した日本人の物語

取扱い店：国連本部地下書店
United Nations Bookshop
48th Street and 1st Avenue
Room GA-1B-103
Tel:212-963-7680
または週刊NY生活まで
電話 212-213-6069
価格：$23



発行元：国連平和の鐘を守る会
原案：高瀬聖子　絵・文　あいざわるつこ
米国販売代理店：ニューヨーク生活プレス社